



小坂町新町制施行 70周年記念式典

11月2日、交流センター・セパームにおいて、新町制施行70周年記念式典が挙行されました。

式典で町長は、鉾山町として栄えた町の歴史を振り返った後、昭和、平成、そして令和の主要施策や出来事に触れながら、近年の町の姿を紹介。「現在のまちや暮らしの中に共有財産として受け継がれている『ひと』『自然』『文化』の様々な魅力を、地域の個性としてまちの発展に生かし、町民と共有しながら『これからも住み続けたい』という誇りとして未来へ継承していくために、住む人が愛着を持ち、訪れる人が感動するまちづくりに、引き続き努めたい」とさらなる飛躍へ決意を新たにしました。

続いて、目時重雄議長が「取り巻く環境は人口減少、少子高齢化など大きく変化している。この町に生活する全ての人が夢を思い描き、語り合える魅力的で人にやさしい町であり続けられるよう、努力したい」とあいさつを述べました。

この後、地方自治、教育文化、福祉、消防など各分野において町勢の発展に多大な貢献をされた8名の方々を表彰し、1団体へ感謝状を贈呈しました。

【表彰者】（※敬称略・順不同）

地方自治	亀田 利美	成田 直人
	栗山 忠三	椿谷 竹治
教育文化	小笠原憲昭	
福祉	三澤 つせ	
消防	金澤 弘子	
感謝状	和田 隆悦	
	小坂鉄道保存会	

中学生2名

「町づくり貢献」 「町を支える一員に」

小坂中学校3年の木村奈那已さん、高橋月陽さんが記念作文を堂々と発表しました。

木村さんは「小坂町の魅力発信に携わって」と題して、町の発展と活性化を目指した学習を紹介。「今後も自然豊かで伝統あふれる町の魅力を発信する活動を継続し、未来の明るい町づくりに貢献できるような力を尽くしたい」と意気込みました。

一方、高橋さんは「小坂町を守りたい」と題して思いを伝えました。「小坂町を守るためにできることは、町民一人一人の行動から始まる。これから先も町を支える一員として自分にできることを考え、地道に行動したい」と力強く誓いました。



「広報こさか」は、毎月10日の発行日に自治会に届けているため、皆様のお手元に届くまでに若干の日数を要することがあります。ご迷惑をおかけしますが、ご了承くださいようお願いいたします。

広報こさか〔No.1195〕2025年（令和7年）12月号（毎月10日発行）

■編集・発行／小坂町役場総務課（〒017-0292 秋田県鹿角郡小坂町小坂字上谷地41番地1 TEL0186-29-3901 FAX0186-29-5481）

■町のホームページ <https://www.town.kosaka.akita.jp/> ■Eメール koho-kosaka@town.kosaka.akita.jp

